

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p><教育課程></p> <p>(1)幅広い学習ニーズに応える多様な柔軟な教育を展開する。</p> <p>(2)福祉教育の充実を図るとともに、特色ある学校づくりの推進</p>	<p>(1)①進路別履修モデル等を作成し、保護者・生徒に明示し選択に役立てる。</p> <p>②キャリアガイダンス等、体験的な学習や進路を考えさせる機会を提供する。</p> <p>③外部との連携などにより福祉ボランティア教育の充実を図る。</p> <p>(2)福祉講座で、在校生のボランティア実践例を紹介し、外部講師によるボランティア活動の現状と課題を理解し自分がボランティアにどのようなかかわればよいのかを考える機会をつくる。</p>	<p>(1)①進路別履修モデルの有無、履修指導の状況、教科指導計画の作成状況</p> <p>②体験的な学習等の取り組み状況</p> <p>③外部との連携状況、実施状況</p> <p>(2)ボランティア活動の取り組み状況</p>	<p>(1)①進路履修計画を作成し、適宜履修指導を行った。</p> <p>②11月のキャリアガイダンスに向けて準備、事前指導を行っている。</p> <p>③1学期に7件、夏季休業中に111件の地域ボランティア活動を行っている。</p> <p>(2)1年の福祉講座では赤十字社の被災地のボランティア状況の報告と、本校生徒が地域のボランティアを行ってきた事を発表出来るように指導している。</p>	<p>(1)①新しいカリキュラムと大学等の入試科目の状況を確認しながら進路別履修モデルを作成する。</p> <p>②キャリアガイダンス実施後に次年度に向けて課題・改善策を検討する。</p> <p>③外部との連携事業に向けて、事前の準備をより充実させる。</p> <p>(2)福祉講座で1年生の生徒が講座の内容を理解しやすいように事前指導を工夫しておこなっている。</p>	<p>(保護者)</p> <p>(1)進路履修計画によって履修指導をしているのはよい。</p> <p>進路については入学後すぐに考えはじめる時間を作った方がよい。</p> <p>キャリアガイダンスはとても分かりやすい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(1)①生徒自身が進路を考えながら履修計画を立てている。</p> <p>②体験的な学習に生徒は意欲的に取り組んでいる。今後もより充実した内容になるよう検討していく。</p> <p>③今後も生徒が積極的に参加できる状況を検討していきたい。</p> <p>(2)福祉教育を実践するうえで必要な講座の設定を検討する。</p> <p>(改善方策等)</p>
<p><生徒指導・支援></p> <p>(1)社会や集団の一員としての、規範意識や社会貢献意識及び主体的に社会に参画する力を育成する。</p>	<p>(1)①集団の規則や時間を守り、安全・健康に生活する力を育てる指導を行うとともに、マナーや礼儀を弁えた生徒を育成する。</p> <p>②部活動や生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、生徒の主体性を育む。学校行事等は振返りを行い次回の計画につなげる。</p>	<p>(1)①頭髪・服装指導の状況、遅刻の数、授業のチャイム開始チャイム終了・交通安全指導の状況、保健活動の状況、集会指導の状況</p> <p>②1年の部活動の加入率80%以上、部活動・委員会活動・生徒会等の活動状況、振返りの実施状況</p>	<p>(1)①頭髪・服装指導は各学年単位で実施できている。概ね生徒は指導に従っている。遅刻については学期で10回以上遅刻をした生徒を対象に実施した遅刻指導は全学年で43人であった。授業のチャイム着席については毎時間教員が校内巡回をしており、概ねできている。集会時も私語はほとんどなく、整然と整列している。</p>	<p>(1)①頭髪・服装指導は概ね指導が徹底できているが、一部の生徒が染色等をしている。担任を中心に、学年をあげての粘り強く継続した指導が課題である。そのためには保護者との連絡を密に、学年内で情報を共有して指導を行っていく。チャイム着席、集会時の整列指導は現状をしっかりと継続していくことができるかが課題である。</p>	<p>(保護者)</p> <p>(1)(P)遅刻10回以上で指導を受けている生徒が43人というのは多くはないか。</p> <p>頭髪・服装・挨拶など乱れもほとんどなく、指導が徹底できている。先生が繰り返し根気強く指導している。霧校は真面目なイメージがある。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(1)①概ね指導については地域のご理解をいただけている。</p> <p>②これからも部活動加入率を上げて、部活動の盛んな学校を目指す雰囲気作りをする。</p> <p>(改善方策等)</p>

	<p>③霧トライバंकや HR、福祉委員会等を活用し、就業体験・ボランティア体験・各種コンクール・各種検定等への生徒の積極的な参加を図るとともに、事前・事後指導を行い、学力の向上を図る。</p> <p>④生徒会を中心に生徒が主体的にマナー向上に取り組む。</p> <p>⑤学年全体で生徒の情報を共有し多面的な生徒理解に努め迅速で丁寧な対応を行う。</p> <p>(2)①教育相談コーディネーターを活用し組織的な教育相談体制を整備する。</p> <p>②PTA と連携して生徒の自転車安全点検を実施するとともに、事故が起らないように通学時における法令法規に遵守する自転車の乗り方を指導する。</p>	<p>③霧トライバंकや HR、福祉委員会等を活用し、就業体験・ボランティア体験・各種コンクール・各種検定等への生徒の積極的な参加を図るとともに、事前・事後指導を行い、学力の向上を図る。</p> <p>④生徒会を中心に生徒が主体的にマナー向上に取り組む。</p> <p>⑤学年全体で生徒の情報を共有し多面的な生徒理解に努め迅速で丁寧な対応を行う。</p> <p>(2)①教育相談コーディネーターを活用し組織的な教育相談体制を整備する。</p> <p>②PTA と連携して生徒の自転車安全点検を実施するとともに、事故が起らないように通学時における法令法規に遵守する自転車の乗り方を指導する。</p>	<p>②1年生の部活動加入率は70%で委員会の活動状況については生徒会本部を中心に中央委員会等を開き、課題を見つけている。生徒会本部はミーティングを通して、各行事、活動での振り返りを行っている。</p> <p>③就業体験活動は18名が参加した。霧トライバंकの認知度はアンケートより向上している。また、職員室前の掲示板の整理により、各グループで情報発信の場所が機能しつつある。福祉委員会では、毎年のボランティア実態意識アンケートを6月に行い、夏休みのボランティアへの参加意識を高めた。霧高祭では、今年初めて委員会として参加し、東日本・広島災害への募金活動を行う事が出来た。</p> <p>④正門での朝の挨拶運動を生徒会本部を中心に展開する予定である。</p> <p>(2)教育相談体制はコーディネーターを中心に毎月カウンセリングを実施しており、1学期の利用生徒数は10人(延べ18回)である。自転車の安全点検は1年生の入学時並びにPTA と連携して10月に生徒の自転車安全点検を実施している。</p>	<p>②4月当初の加入率は年々増加傾向であるが、途中退部者も結構いるので、退部理由等を集計の上対策を検討していく。委員会活動を充実させる必要を生徒会本部は検討しているので、生徒教員と話し合い、良い方向へ改善していきたい。</p> <p>③ボランティア関係では取り組む生徒は増加しているので、自主的な活動をさらに促していく。</p> <p>(2)教育相談体制は、学校にスクールカウンセラー来所日を毎学期告知しているが、より一層の周知をすることにより、相談体制を充実させていく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>①生徒の安全を考えより良い学校作りをしてほしい。ルールを守ることを大人が実践していかなければいけない(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>③参加者の満足度は高い。今後も様々な活動の情報提供を行い、生徒の参加を促す。</p> <p>④朝の挨拶運動を広めていけるように検討する。</p> <p>(2)「個に応じた指導」を念頭に置き、様々な課題を抱えている生徒に、柔軟に対応していけるような教育相談体制をより一層推進する。</p> <p>(改善方策等)</p>
<p><学習指導・授業改善> 生徒の学習意欲を向上させ、上級学校や社会での学習につながる確かな学力を育成する</p>	<p>(1)授業の工夫・改善を組織的・計画的に進める。また、生徒による授業評価を効果的に活用する。</p> <p>(2)休業中・平日の補習等の実施を通し、一人ひとりの生徒に対応した指導を行う。</p>	<p>(1)授業見学、授業研究の状況、生徒による授業評価の活用状況</p> <p>(2)補習等の実施状況と参加者数</p>	<p>(1)5月に全職員を対象に、研究授業を実施し、意見交換を行った。生徒参加型の授業を全校で研究していく。7月の生徒による授業評価の結果を各教科で分析し、2学期の授業改善に活用する。</p> <p>(2)夏期講習に15講座を開講し1519名が参加し、参加者数は昨年度より増加した。河合塾サテライト講座(英語)には66名が参加した。また、3年生対象の3泊4日の勉強合宿には48名が参加した。個々の進路に応じた面接・小論文指導を行った。</p>	<p>(1)授業改善の取り組みとして、11月・12月に外部講師を招き職員研修会を実施予定。10月・1月には本校職員による授業研修を予定。また、11月には授業見学週間を設定、各教員が1講座以上見学予定。</p> <p>(2)今後も生徒の興味・関心、進路希望に応じた補習等を実施する。</p>	<p>(保護者)</p> <p>今年初めて実施した勉強合宿や夏期講習はとても評価できる。(学校評議員)</p> <p>夏休みの勉強合宿はたいへんよい試みなので継続して欲しい。</p> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(1)学校の基礎となる授業の質を向上させていくため、引き続き改善に努めていく。</p> <p>(2)講習内容や実施時期を工夫しより充実したものとしていく。</p> <p>(改善方策等)</p>

	(3) 宿題や課題レポートなどを効果的に実施し、家庭学習の定着を図る	(3) 宿題、課題レポートの実施状況	(3) 週末課題や夏季休業中の課題を作成し、復習・予習に取組ませることで、継続的な学習体制を確立した。	(3) 課題の提出状況・達成状況を確認し、家庭学習習慣の確立を図っていく。		(学校評価) (3) 課題内容と実施時期を工夫し、さらに効果的なものとする。 (改善方策等)
<キャリア教育> (1) 3年間を通じたキャリア教育の体系化を行い、生徒のキャリア発達に応じた支援を行い、一人ひとりの希望進路を実現する。 (2) 部活動・生徒会活動・ボランティア教育・学校行事等を活性化させ、生徒の自主的・主体的な活動を推進し、汎用的能力の向上を図る。	(1) ①進路・履修計画を参考に生徒自身が履修科目や進路を選択できるよう支援する。放課後の会議のあり方を工夫し、生徒との面談時間を確保する。 ②教科や総合的な学習の時間、特別活動を通して、生徒がシチズンシップを発揮するために必要な知識・意識・スキルを高める。 ③一般受験者には、平日や休業中の補習、河合塾サテライト講座、模擬試験の充実を図るとともに、校内ガイダンス・学校見学を通して進路研究を行う。公務員希望者には対策講座、模擬試験を行う。 ④生徒の多様な進路希望について職員研修を計画的に実施し理解を深める。 (2) ①生徒の意見を意見箱やアンケート等で積極的に吸い上げ、生徒会を中心に検討し改善を図る。 ②生徒会行事の充実のために生徒会生徒との意見交換を行い、充実した行事が行えるように工夫する。 ③部活動の日を設定し、各部活動の目標掲示やリーダーのための講習会を企画する。	(1) ①生徒との面談等の支援の実施状況 ②シチズンシップ教育の実施状況と生徒の状況 ③補習、講座、模擬試験の実施状況 ④職員研修の実施状況 (2) ①意見の集約状況、生徒の参加数やアンケート結果 ②職員の時確保と行事についての生徒アンケートの実施 ③加入率の確認と部活動の日の振り返りの実施	(1) ①6月の放課後と夏休みに保護者面談を実施した。他にも4月から随時生徒との面談を行っている。 ②社会参加・政治意識を高めるため、文化祭で緑区選挙推進協議会と連携し、投票をPRする企画を行った。モラル・マナー教育としては、毎年1年次に携帯電話、交通安全、性感染症予防、薬物防止の講座を実施している。朝の読書を総合的な学習の時間として毎朝実施している。 ③校内模擬試験は3年生対象に3回行い5月は43名、6月は31名、7月は61名が参加した。3年生の公務員希望者には対策講座を3回行った。 ④職員研修として4月に専門学校、7月に大学の研修会を実施した。また、実力テストの結果分析と生徒指導のための研修会を実施した。 (2) ①現在意見箱に募集中で今後前向きな意見があれば、生徒会を中心に検討する。 ②文化祭充実のためにカウントダウンボードを作成し、オープニングやステージ装飾などで生徒の希望を叶え、文化祭への意欲を喚起した。クラスマッチでは、クラスでの団結をより高められるような試合構成に変更し、とても良い雰囲気で行えた。 ③4月の部活動の日では一斉入部と部活動目標の確認を行い、意欲を高めるよう喚起すると同時に、活動場所の整理整頓等で安全に活動できる環境づくりを行った。10月の部活動の日では新体制での組織、目	1) ①今年度から多くのグループ会議を授業時間内に設定し、放課後の時間に余裕を持たせている。今後も放課後の時間確保を図っていく。また、生徒にとってもより効果的な面接となるよう、面接の指導法等についての職員研修も検討する。 ②今後も引き続き、シチズンシップ教育の視点を取り入れた活動の質・量の充実を図る。 ③勉強合宿の実施について、組織的な取組みを検討する。公務員希望者への支援について、時期や内容を検討し、より多くの希望進路の実現を図る。 ④多様な進路希望に対してきめ細かな支援ができるよう、今後も必要となる知識やスキルについて職員研修を実施する。 (2) ①意見箱への要望を生徒と検討しながら生徒が活動しやすい方向へ改善を進める。 ②文化祭の総括を行い、日程、内容などさまざまな反省を検討し、次年度運営しやすい形に改善していきたい。クラスマッチではさらに有意義な行事になるように生徒の意見を聞き、改善していきたい。 ③部活動の活性化のために、	(保護者) (1) 夏休みの保護者面談は今後も継続して欲しい。面談や説明会の時期が早めに設定されておりよかった。公務員希望者も早めに面談していただきよかった。校内模試の参加や夏休みの学校見学をもう少し促すとよい。大学や社会生活など卒業後のことが想像できる話をしてほしい。 (学校評議員) (その他)	(学校評価) (1) ①今後も生徒、保護者の必要に応じて積極的に面談を実施していく。 ②外部と連携した文化祭での取組みはよかった。今後も様々な機会にシチズンシップの視点を取り入れた教育活動をしていく。 ③講習を通して生徒の学習意欲と学力の向上が図られた。公務員希望者にも一定の支援ができたが、さらに効果的な支援について検討していく。 ④今後も生徒の指導に役立つ職員研修を実施していく。 (2) 生徒の意見を取り入れ、よりよい活動ができるように職員がサポートしていく。 (改善方策等)

			標の確認を行う予定である。また、リーダーのための講習会も企画する予定である。	リーダーの養成や意識を高めるための取組みを増やしたい。		
<地域等連携> 地域との連携強化や広報活動の充実により、開かれた学校づくりを推進する。	①学校行事、委員会活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通して、地域と学ぶ生徒の活動を支援するとともに、家庭や地域との結びつきを深め、地域に根ざした生徒の育成を支援する。 ②チャレンジスクールや学校説明会を開き、地域や近隣中学校との交流を深める。 ③本校の教育活動を適切かつ迅速に提供するために、ホームページや学校案内を工夫改善する。	①生徒と地域との交流の場の設定、生徒が主体的に地域の方々と関わり自己を活かすことができたかの検証 ②チャレンジスクールや学校説明会のあり方の研究と実践、充実した情報発信の実施、地域との交流の達成状況 ③ホームページや学校案内の研究の実施、適切な情報伝達ができただどうかの検証	①夏休みまでに、のべ111名の生徒が地域でボランティア活動を行っている。2学期以降も、地域と連携をとり、地域ボランティアに参加予定。霧高祭では約3700名の来校者数があり、ご家族や地域の方々、他校の生徒が生徒の活動を見に来てくれました。ボランティア活動を続けている生徒の活動報告会を教育力向上事業の一環で10月に行う予定である。 ②チャレンジスクールでは、近隣の中学3年生約100名をお招きし、本校の授業見学を行った。学校説明会を校内2回のほか、校外の2会場でも開催し、部活動・委員会活動・学習活動などの生徒の発表を取り入れて行い、日ごろの教育活動の成果を中学生や保護者の方に見ていただいた。学校見学週間・部活動見学週間を設定し、392名の中学生・保護者の方をお招きした。 ③本校の公認キャラクターの着ぐるみマスコットを製作し、広報活動をおこなうなどの工夫をした。また、ホームページ、学校案内の研究を行い、より見やすく、情報がしつかり伝わるよう刷新した。	①生徒が自主的に地域と関わっていく機会をつくるために生徒会生徒との連携を密にして、生徒の要望を実現できる環境づくりを目指す。 ②チャレンジスクール以外の中学校との交流も模索する。学校説明会、学校見学週間、部活動見学週間の時期や時間を中学生の予定に見合った設定にする。これから実施する学校説明会では、生徒によるおもてなし隊を活かし、生徒の姿を来校者の方に見ていただくとともに、生徒のコミュニケーション能力の育成の場とする。 ③ホームページを通して情報を得ている中学生・保護者が多いことから、より迅速に正確な情報を掲載できるようにしていきたい。学校案内の紙面も研究を継続し、よりよいものにしていきたい。	(保護者) ①自主的なボランティア活動を身につけて社会へ出てほしいので、今後もお願いしたい。 ②(P)生徒のおもてなしの姿を見せられるのは良いことである。 ③(P)ホームページがとも見やすく学校説明などわかりやすい。 (学校評議員) ①霧が丘高校と地域との連携・協働をより進めたい。 (その他)	(学校評価) ①ボランティア活動は、一部の意生徒に定着している。報告会を通じて、取組みを周知することは、参加した生徒以外にも地域交流の種を蒔くことになるだろう。さらなる連携が求められているので、検討していきたい。 ②今後も学校説明会が情報伝達だけではなく生徒の発表の場となるよう工夫していきたい。 ③ホームページがさらに有効な情報伝達手段になるよう向上させていきたい。 (改善方策等)
<学校運営・学校管理> (1) 事故・不祥事防止を徹底し、教職員の実践指導力の向上	(1) ①校内システムの点検や問題点の洗い出しを行う。 ②職員の意識高揚を図るため、計画的に研修を実施する。 ③OJTの効果的な方法について検討し、実践していく。 (2) 防災マニュアルの周知徹底、生徒の安全意識を高める防災教育を実施する。	(1) ①関係部署で校内システムの点検の実施、対策の検討状況 ②校内研修の実施状況と効果の検証 ③OJTの効果的な方法を検 (2)防災マニュアルの有効的な活用と防災教育の実施状況	(1) 不祥事ゼロプログラムを策定、実施している。毎月各グループ及び企画会議が担当し全職員参加の事故・不祥事防止研修会議を4回実施した。年間10回を予定している。 (2) 防災マニュアルの見直しとともに、生徒の防災方面別のリストを作成した。2学期中には全学年3食分の非常備蓄食糧が整備できる。8月にシェイクアウトを実施し、10	(1) 不祥事防止に向けた職員の意識は高く維持されているが、日常的な業務についても「慣れ」に陥らないように意識を高く持って取り組んでいきたい。 (2) 防災マニュアルをもっと有効活用できるよう職員研修の充実を図りたい。	(保護者) (1)安全、安心して学校生活を過ごせるようにこれからも継続しておこなって欲しい。 (2)(P)子どもたちの防災意識を高め効果的な避難訓練を実施してください。	(学校評価) (1)計画的に職員研修は実施できている。日常的に点検チェックを行い、意識啓発に努めていく。 (2)災害に対して生徒の安全意識を高めていきたい。まちコミによる緊急連絡システムの活用推進。

<p>(2) 生徒への安全意識を高め、防災や安全対策の一層の強化 (3) 学校内の整備・美化に努める。予算の有効活用</p>	<p>(3) 学習環境の整備・美化に努め、予算の有効活用を行う。</p>	<p>(3) 校内の整備・美化の状況、予算の執行状況</p>	<p>月に地震を想定した防災訓練を実施する。 (3) 美化委員会中心にゴミの分別の啓発活動を行い、分別に向けた取り組みを強化した。</p>	<p>(3) トイレの改修工事が今年実施されるが、他の施設も老朽化している。事務及び関係諸機関と連絡を密にし改善を図りたい。</p>	<p>(3) (P)教育環境の整備に尽力いただき、生徒の学校生活をサポートしてください。 (学校評議員) (1) 生徒の安全を考えよりよい学校作りをお願いしたい。 (その他)</p>	<p>(3) 校内美化に努め生徒の学習環境作りに努めていく。 (改善方策等)</p>
--	--------------------------------------	--------------------------------	---	--	--	---